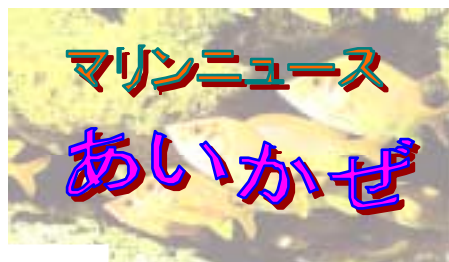


九管本部



平成 14 年 11 月 1 日 第 1 8 6 号

発行：第九管区海上保安本部・海の相談室
〒950-8543 新潟市万代2丁目2番1号

(新潟総合庁舎)

電話 025-244-4140

FAX 025-243-1694

E-mail: sodan9@jodc.go.jp

内容等でお気づきのことがあり
ましたらお知らせ下さい。



○ 11月1日は「灯台記念日」～とうだい特集～

11月1日は、今年で134周年を迎える「灯台記念日」です。
我が国初の洋式灯台が今から134年前の1868年、明治元年
11月1日に、神奈川県三浦半島の観音崎^{かんのんざき}に起工されました。

この日にちなんで「灯台記念日」としています。

岬の灯台は、どこことなく旅情を誘いますが、今ではほとんどの灯
台は無人で運用され、海の道しるべとして活躍しています。

それでは、その「灯台の日本一」を紹介しましょう。



佐渡おけさを舞う人のかた
どった全国でも珍しい佐渡
島の両津港北防波堤灯台



日本で一番塔の高い出雲日御碕灯台



日本で一番標高が高く光が
遠くまで届く余部埼灯台



現存する日本最古の鉄造り
の姫埼灯台

一番塔の高い灯台は、島根県の出雲日御碕^{いずもひのみさきとうだい}灯台で、地上から約44mもあります。一番標高の高
い灯台は、兵庫県の日本海側、余部^{あまるべ}鉄橋^{てつきょう}の近くにある余部埼^{あまるべさきとうだい}灯台で、標高は284mあります。

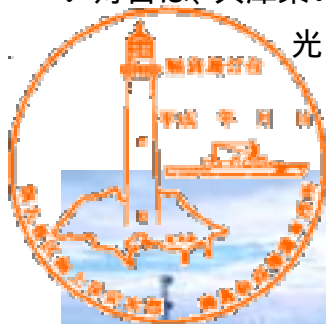
光が一番遠くまで届く灯台もこの余部埼灯台で、約73km先まで光が届きます。

九管管内（新潟・富山・石川県）にも日本一があります。佐渡の姫埼^{ひめさきとうだい}灯台は
明治28年12月10日に点灯されてから107年を経過して、我が国に現存

する日本最古の鉄造りの灯台です。この灯台は、歴史的・文化的
価値の高い建造物として、平成10年に国際航路標識協会による
「世界各国の歴史的に特に重要な灯台百選」にも選ばれました。

姫埼灯台の前には、その昔、灯台職員の宿舎であった史員退
息所^{そくしよ}が復元され、「姫埼燈台館」^{ひめさきとうだいかん}として実物のレンズや佐渡
の主な灯台のパネルが展示されています。

（入館無料、問合先：両津市観光協会 0259-23-3300）



管内で一番塔の高い舢倉島灯台



管内で一番標高が高く光が遠くまで届く粟島灯台

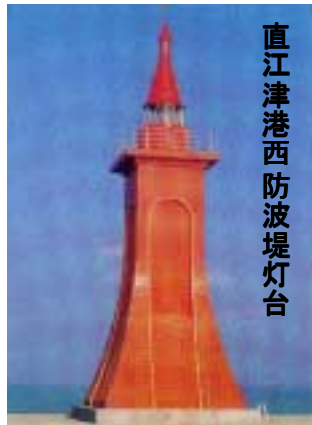
次に「九管々内の灯台の一番」を紹介しましょう。

一番塔の高い灯台は、能登半島沖の触倉島^{へぐらしま}にある触倉島灯台で、地上から約34mあります。一番標高が高く、光が遠くまで届く灯台は、岩船港沖の粟島^{あわしま}にある粟島灯台^{あわしまとうだい}で、標高274m、光は約71km先まで届きます。

冒頭に掲載しました「おけさ灯台」は「デザイン灯台」と呼ばれ、その地方の歴史や文化等、象徴になる記念すべきものを地域と協

力して、デザイン化し建設されたものです。

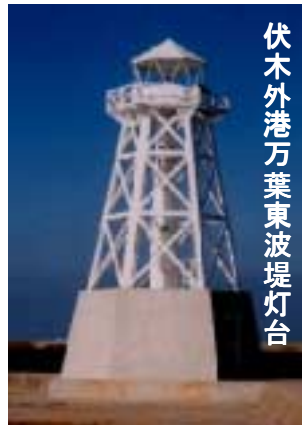
この他管内には、上杉謙信^{うえすぎけんしん}の居城「春日山城」^{かすがやまじょう}の城郭^{じょうかく}をイメージした「直江津港西防波堤灯台」、富山県滑川市^{なめりかわし}のシンボル「蛸イカ」をイメージしたマスコットプレート^{ふしきこう}を付けた「滑川港防波堤灯台」、富山県伏木港に私財を投じて^{ふしきとうみょうだい}



直江津港西防波堤灯台



滑川港防波堤灯台



伏木外港万葉東防波堤灯台

明治10年に灯台を建設した藤井能三^{ふじいのうぞう}氏の功績を後世に伝えるため、初代伏木燈明台^{ふしきとうみょうだい}をデザインした「伏木外港万葉東防波堤灯台」^{ふしきがいこうまんようひがしぼうはていとうだい}があります。

平成10年の灯台記念日に全国の皆さんに選ばれた「あなたが選ぶ日本の灯台50選」の中には、九管管内から佐渡島の姫埼灯台^{ひめさきとうだい}、石川県の^{おおのとうだい}大野灯台と^{ろっこうさきとうだい}禄剛埼灯台の3灯台が選ばれています。今度のお休みには、岬の灯台に足を運んでみては如何でしょうか。



「あなたが選ぶ日本の灯台50選」から禄剛埼灯台



大野灯台

* 九管内の灯台一覧：<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN9/sodan/todai/todai.htm>

* 船舶気象通報のサービス：<http://www.kaiho.mlit.go.jp/09kanku/niigata-kouhyou/kisyou/>

管内の灯台で観測した風向や風速等の海の気象をテレホンサービスやホームページで提供

○ 第3回「未来に残そう青い海」図画コンクールに 多数の応募ありがとうございました！

6月から実施しておりました第3回「未来に残そう青い海」図画コンクールは、9月末日に応募を締め切りましたが、管内（新潟・富山・石川各県）の小、中学校から1,000点を超える多数の応募がありました。審査結果につきましては、追ってマリンユースでも紹介します。

多数の応募本当にありがとうございました。